



総研大ニューズレター

第45号 2012.2 発行

●目次

【今月のトピックス】 「平成23年度総研大国際シンポジウム 開催 国際シンポジウム実施委員会」
「文化科学研究科・学術交流フォーラム 開催 文化科学研究科」
「高エネルギー加速器研究機構「科学と音楽の響宴2011」開催
高エネルギー加速器研究機構」
「NIFS東京イベント「Fusion フェスタ in Tokyo」開催 核融合科学研究所」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

2月9日～10日	物理科学研究科学生セミナー
2月14日～17日	核融合科学専攻 アジア冬の学校
2月15日～17日	宇宙科学専攻 アジア冬の学校
3月10日～11日	総研大 学融合プロジェクト シンポジウム
3月22日～23日	学術交流会
3月23日	学位記授与式
3月23日	長倉研究奨励賞・総研大研究賞 発表会・授与式
3月29日～30日	学長イニシャティブ事業 総研大フォーラム
4月12日	入学式
4月12日	総合研究大学院大学 学長賞ポスター発表会・授与式
4月12日～13日	学生セミナー

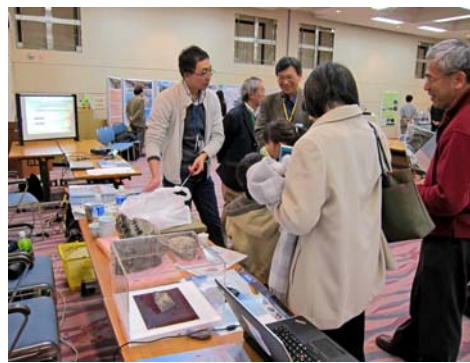
【今月のトピックス】

● 平成23年度総研大国際シンポジウムを開催

国際シンポジウム「総研大のリサーチリソース」が平成23年12月16日（金）～18日（日）の3日間の日程で岡崎コンファレンスホールにて行われました。16日は岡崎3研究所と核融合研究所の2カ所にわかれて施設見学を行いました。分子科学研究所ではUVSOR、大型計算機センター、生理学研究所ではニホンザルバイオリソースを用いた研究概要（伊佐研究室）及び2光子顕微鏡（鍋倉研究室）、基礎生物学研究所ではメダカバイオリソース（水生動物室）及び大型スペクトルグラフ室を見学しました。核融合研では大型ヘリカル装置（LHD）をはじめ施設全体の見学をさせていただきました。さらに16日は基盤機関ごとにブースの設置を行いました。国際シンポジウム実施委員を中心に参加者があつまりブース設定を行いその後、ミキサーを行いました。これによって普段、知り合うことのない異分野の研究者間の交流をはかることができ、17日の国際シンポジウムでの議論を行う下準備になったのではないかと思います。ブース展示の内容として、文化科学研究科では日本文学研究専攻の源氏物語等のデータベース紹介がありました。物理科学研究科では天文科学、核融合科学、宇宙科学、構造分子科学、機能分子科学の各専攻から大型ヘリカル装置モデル、衛星模型や他の大型研究施設の紹介ポスターが展示されました。高エネルギー加速器研究科からは加速器科



学、物質構造科学、素粒子原子核の各専攻から大型加速器の紹介とそれを用いた素粒子科学研究や物質構造科学専攻の学生によるポスター展示がありました。複合科学研究科では統計科学、極域科学、情報学の3専攻から統数研のもつ統計学解析に最適なスーパーコンピュータシステム、南極の隕石や氷、SINET4 システムの説明などの展示が行われました。生命科学研究科では遺伝学、基礎生物学、生理科学の3専攻からナショナルバイオリソースプロジェクト（メダカ、ニホンザル、アサガオ、ゼブラフィッシュ）の紹介と遺伝学専攻が持つ各種リサーチリソースの展示説明がありました。先導科学研究科では葉山キャンパスに設置されている研究機器の紹介がありました。学融合推進センターからは科学者と芸術家の対話から生まれた芸術作品（Resonance・Science and Art-）が展示されました。今回の国際シンポジウムの特徴としてほとんど全ての専攻が何らかの展示を行い、リサーチリソースとその重要性についてわかりやすい説明を行ったことがあげられます。同じ総研大の教員、学生であっても、このシンポジウムに参加して初めて知ったことも多かったと思います。ちなみに南極の氷は講演会に次ぐポスターセッションにおいて水割りの氷としても利用されました。



17日の国際シンポジウムでは各基盤機関を代表して、それぞれの研究所・博物館がもつリサーチリソースとそれをもちいた研究の紹介とともに、世界でほぼ唯一と言える大型機器や大型プロジェクトから得られるデータをどのように他の研究者と共有するのかという点について議論を行いました。今回の国際シンポジウムでは3名の外国人講演者をご招待したのですが、お二人がご病気等で直前に来日ができなくなるというアクシデントに見舞われました。コロラド大学ボルダー校 National Snow and Ice Data Center からおいでになった Mark Parsons さんが唯一の国外からの参加者となったことは残念なことでした。国内からの講演者では比較文化学専攻の久保先生から国立民族学博物館の所蔵品のご紹介とそれらを広く公開し利用する際の著作権保護との関係が議論されました。日本文学研究専攻の青木先生からは東日本大震災で被害をうけた文化財や資料の修復をどのようにおこなったのかについて具体的な方法論のレベルから話題提供いただきました。遺伝学専攻からは DDBJ センター長の久保先生から「Pragmatics of the science data」というタイトルで生命系データのシェアリングの重要性とそれを妨げる問題の数々とその解決策である新たなモラルとルールへの提言がなされました。生理科学専攻の伊佐先生からはニホンザルバイオリソースプロジェクトと神経科学とくに人の脳を理解するための霊長類リソースの重要性について具体例をあげて話題提供いただきました。複合科学研究科からは情報学専攻の山田先生によるアカデミックネットワークの根幹である SINET4 の紹介、Parsons 先生からは大規模データを扱う際に直面する共通の問題点であるデータ共有とクリエイティブコモンズを用いた新たな明示的なデータ利用システムについて紹介がありました。田村先生から統計科学専攻のスーパーコンピュータシステムと乱数発生装置の歴史とその重要性についてご講演をいただきました。物理科学研究科からは機能分子科学専攻の石田先生の分子研大型計算機センターの活動紹介、天文科学専攻の常田先生からは太陽観測衛星「Hinode」によって観測された圧巻の太陽の映像、核融合科学専攻の金子先生からは核融合研の大型ヘリカル装置とスーパーコンピュータシステムなどの話題提供がありました。高エネルギー加速器科学研究科からは真木先生による日本で最初の共同利用機関としての KEK 建設の歴史から最新の加速器科学研究とその将来像についてご紹介をいただきました。このシンポジウムの印象としてきわめて多様な分野からの話題提供であったにもかかわらず、“data sharing”という点では共通の問題点が存在しており、その解決策も見えつつあるという点であると感じました。



18日は森脇先生による「マウス：ゲノム時代のバイオリソース」と坂本先生の「小惑星探査機「はやぶさ」が遺したものの」の2演題による一般向けの講演会を開催するとともにブースでの一般向け説明会も開催しました。モデル生物としてマウスは現在では不動の地位を占めます。森脇先生は一貫して野生マウスの研究をおこない実験用マウスとはその性質が大きく異なることを明らかにしてこられました。モデル生物マウスの誕生からマウス近交系の起源、日本産野生マウスの研究と野生集団の重要性など生物系リソースの開発では非常に示唆に富む内容でした。一般の方にとっても江戸時代の日本の愛玩用マウスがヨーロッパに渡り、現在の実験用マウスに受け継がれているという事実は興味深いものであったと思われました。宇宙科学専攻・JAXA 宇宙科学研究所の阪本先生からは小惑星探査機「はやぶさ」の7年間におよぶ宇宙の旅をドラマチックにときにコミカルにイラストを交えながら紹介いただきました。はやぶさプロジェクトがボトムアップ型の共同利用として開始され、様々なプロフェッショナル研究者の自由な発想によって、あの偉業が成し遂げられたことを知ることができたことは、今後の研究のあり方を考える上で大変に示唆的であったと思えます。

今回の総研大国際シンポジウムでは13名の講演者を含む合計64名の参加者に加えて、12月18日の一般向け講演会では32名の一般来場者がありました。多くの方々の努力によって大変内容が豊富で、興味深いシンポジウムであったことを考えると参加者の数が必ずしも多くなかったことが悔やまれる点です。特に18日の一般向け講演会ではもう少し岡崎周辺の方々に早めの連絡を行うべきであったと感じています。最後になります。講演者を初め実施委員の方々、ポスター発表を行っていただいた総研大生の方々、そして裏方として様々な働きをいただいた葉山国際交流係の方々と永田、西村、伊佐、成瀬研究室の方々に感謝いたします。

【文責：平成23年度総合研究大学院大学国際シンポジウム実施委員長
基礎生物学専攻 准教授 成瀬清】

● 文化科学研究科・学術交流フォーラムを開催

本年度の文化科学研究科・学術交流フォーラムは平成23年12月10日（土）と11日（日）の2日間にわたり、京都の国際日本文化研究センター（日文研）で開催されました。もともとこのフォーラムは文化科学研究科の専攻を超えた学生間の交流を図る事業として出発しましたが、その後、教員間の交流を図る事業と一体化して実施されてきました。今回は原点に戻り、学生主体の趣旨を徹底することに重点を置いて、企画と準備を進めました。

1日目は、まず5人の学生による研究報告が行われました。主として、研究科の研究・トレーニング事業による研究支援を受けた学生の成果報告です。「春画における背景表現の機能と変遷」「田山花袋の翻案・翻訳に関する調査研究」「ガダモッジ儀礼ーエチオピア南部牧畜民ボラナにおける通過儀礼」「実物投影機とコンピュータの活用における教員間コミュニケーションに関する事例研究」「韓半島における家畜飼育の始まり」の5つの研究報告はいずれも質が高く、これだけでも学術研究フォーラムの狙いは十分に満たされたのではないかと思われるほどでした。



次いで、ポスター発表が行われました。全部で13のポスターが展示されましたが、そのうち教員によるものが2、学生によるものが11で、ここでも学生主体の趣旨が生かされました。いずれ

も、研究成果を手際よく、とても興味深いかたちに展示し説明していました。ポスター発表終了後、レストラン「赤おに」で懇親会が催され、専攻の異なる学生間の親睦と、さらに教員と学生間の親睦を深めることができました。

2日目は、午前中に「日本の中の世界、世界の中の日本」をテーマとする教員のシンポジウムが行われました。司会は三輪眞木子先生（メディア社会文化）、講演は井上章一先生（国際日本研究）、中牧弘允先生（比較文化学）、野本忠司先生（日本文学研究）、日高薫先生（日本歴史研究）の4人の教員が担当されました。講演はどれも斬新な発想と堅実な方法論に裏打ちされたもので、参加学生を大いに啓発したように見受けられました。講演後の質疑応答も活発になされました。

午後には、午前中に講演をされた教員を核にして参加学生が4つのグループをつくり、それぞれの研究関心を生かした共同研究のテーマを構想するというワークショップを実施しました。教員の講演と連動させたこの初



めの試みは、教員と学生とがなごやかに、かつ真剣に対話するなかで、その狙いを十分に達成したと評価することができるでしょう。

ワークショップに代表される学生主体の企画・実行という今回のフォーラムの趣旨は、学生企画委員の努力と工夫によって、見事に達成されました。また、総研大と日文研を含む各基盤機関の事務の方々の協力も欠くことのできないものでした。関係各位に、あらためて御礼申し上げます。今後ますますこのフォーラムが活性化し、文化科学研究科の重要な教育事業として発展することを願っています。

【文責 国際日本研究専攻長 戸部良一】

● 高エネルギー加速器研究機構 「科学と音楽の響宴 2011」を開催

12月4日(日)ノバホール(茨城県つくば市)で「科学と音楽の響宴 2011」を開催しました。

「科学と音楽の響宴」は、高エネルギー加速器研究機構、つくば市、つくば都市振興財団等が、地域の文化活動の一環として共同で開催しているもので、今年で6回目となります。

第1部は、ニュートリノ物理学の専門家である鈴木厚人 KEK 機構長が「ニュートリノは日本人が好きなんだ!」と題した講演を行いました。ニュートリノの魔力・魅力にとりつかれた30年を振り返り、ニュートリノの基本から今後の研究の面白さまで、ニュートリノの世界をたっぷりと解説しました。

第2部では、つくば市出身のピアニスト中野翔太氏によるラヴェル、シューマン、リスト、ショパン、ガーシュインなどのピアノ演奏が行われました。数多くの演奏会でシャルル・デュトワ氏、小林研一郎氏、小澤征爾氏らの著名指揮者や、世界的なチェリスト、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ氏と共演するなど世界中で大活躍されている中野氏の演奏に、約630名の来場者が魅了されました。



講演中の鈴木厚人氏



中野翔太氏のピアノ演奏

【提供：高エネルギー加速器研究機構（KEK）】

● NIFS 東京イベント「Fusion フェスタ in Tokyo」を開催

自然科学研究機構核融合科学研究所（小森彰夫所長）は、「Fusion フェスタ in Tokyoー核融合！未来を創るエネルギー」と題し、東京都江東区青梅にある日本科学未来館においてイベントを開催しました。

核融合科学研究所では、毎年秋にオープンキャンパスを開催して、一般の方に研究所の施設を公開しているが、より広く国民に向けて、核融合科学研究所および大きく進展している核融合研究について知って頂くために、昨年度より本イベントを東京で開催しています。

当日は、「核融合の世界」と題し、小森所長及び竹入教授の講演の他、特別講演として南極越冬隊に参加された朝日新聞南極担当中山由美記者より、「南極から地球が見える」というタイトルの講演会を開催するとともに、各種工作教室及び科学実験教室等のイベントも催し、約530名の参加者がありました。



中山由美記者による特別講演



おもしろ科学教室（磁気浮上列車）



科学工作教室（ロボット工作）



家族向け科学イベント（クイズ大会）

【文責：核融合科学研究所】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時（滞在希望初日の前月 1 日まで）	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000237.html		
国立天文台 平成 24 年度共同開発研究等	平成 24 年 6 月 29 日（金）必着 （研究集会第 2 回）	国立天文台研究支援係
http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

2 月

日程	時間	行事名	場所
3 日（金）	18:00-20:00	サイエンスカフェ	夕凧亭
9 日（木） -10 日（金）		2011 年度物理科学研究科学生セミナー	ホテルコンコルド浜松
http://sprg.isas.jaxa.jp/seminar/j/			
14 日（火） -17 日（金）		核融合科学専攻 アジア冬の学校	核融合科学研究所 シミュレーション棟 1 階 会議室
15 日（水） -17 日（金）		宇宙科学専攻 アジア冬の学校	JAXA 相模原キャンパス 研究管理棟 2 階 大会議場

3 月

日程	時間	行事名	場所
10 日（土） -11 日（日）	13:00-17:00 開場 12:30	総研大 学融合プロジェクト シンポジウム 「エネルギーを考える」	T K P 東京駅八重洲 カンファレンスセン ター
http://center.soken.ac.jp/news/s61umn0000003ewq.html			
22 日（木） -23 日（金）		学術交流会	葉山キャンパス
23 日（金）		学位記授与式	葉山キャンパス
23 日（金）		長倉研究奨励賞・総研大研究賞 発表会・授与式	葉山キャンパス
29 日（木） -30 日（金）	29 日 13:00 -30 日 17:00	学長イニシヤティブ事業 総研大フォーラム「異分野結合の必要性、課題と方途」	葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/2200.html			

4月

日程	時間	行事名	場所
12日(木)		入学式	葉山キャンパス
12日(木)		総合研究大学院大学 学長賞ポスター発表会・授与式	葉山キャンパス
12日(木) -13日(金)		学生セミナー	葉山キャンパス

● 基盤機関の行事

2月

日程	時間	行事名	場所
12月21日(水) -2月20日(月)	10:00-17:00 入館は 16:30まで	企画展 「ウメサオタダオ展—未来を探検する知の道具—」	日本科学未来館 主催：日本科学未来館、国立民族学博物館
4日(土)	10:00-17:00	歴博映像フォーラム6「アイヌ文化の伝承」	新宿明治安田生命ホール
4日(土) -5日(日)	4日 10:00-17:20 5日 10:00-16:30	公開フォーラム 「バルト海周辺地域の日本コレクション」	国立民族学博物館 第4セミナー室
5日(日)	14:30-15:30	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第240回講演「古代文明を掘る」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html			
2月7日(火) -4月1日(日)	9:30-16:00	特集展示 和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
7日(火) -8日(水)	7日 10:00-16:40 8日 10:00-15:40	国際ワークショップ「捨てるもの、捨てられないもの—布の履歴からモノの消費を考える」	国立民族学博物館 第4セミナー室
11日(土)	14:00-16:00 開場 13:30	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 研究公演「アンデスの詩(うた)」	国立民族学博物館 講堂
11日(土)	14:00-16:00	第338回 「蔵書の歴史-天皇・公家の文庫を中心に」	国立歴史民俗博物館
12日(日)	13:00-15:00	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 親子ワークショップ「アルゼンチンのカーニバルの仮面をつくろう」	国立民族学博物館 第3セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/minpakuforum/20120107ame/#work			

12日(日)	15:30-16:30	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第241回講演「メキシコの木彫アレブリヘ」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html			
14日(火)	14:00-16:00	第253回日文研フォーラム「天寿の域にいたる道—貝原益軒の『養生訓』を中心に—」	ハートピア京都大会議室
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
15日(水)	13:00-17:30	情報・システム研究機構シンポジウム 情報とシステム2011 —システムズ・レジリエンス—「想定外」を科学する	学術総合センター
http://www.rois.ac.jp/sympo/2011/index.html#moshikomi			
15日(水)	18:30-19:45	平成23年度 国立情報学研究所 市民講座第8回「ソフトウェアの品質保証—作るのは簡単、検査が難しい そのわけは？」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
17日(金)	14:00-16:30	日文研伝統文化芸術総合研究プロジェクト公演会 新作能『ルター』(試作)	国際日本文化研究センター内講堂(日文研ホール)
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
17日(金) -18日(土)		国際シンポジウム「アフリカを展示する—ミュージアムにおける文化の表象・再考」	国立民族学博物館 第4セミナー室
18日(土)	13:30-15:00 開場 13:00	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 第405回みんぱくゼミナール 「カレンダーから現代宗教を見る」	国立民族学博物館 講堂
18日(土)		シンポジウム「博物館は悲惨な記憶をどのように展示するのか」	国立民族学博物館
19日(日)	11:00-12:00	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第242回講演「カーニバルでつながるブラジルと日本」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html			
19日(日)	13:30-16:00 開場 13:00	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱく映画会／みんぱくワールドシネマ 「パチャママの贈りもの」	国立民族学博物館 講堂

25日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji		
25日(土)	13:30-15:30	くらしの植物苑観察会 「みかんの戦後-甘さと安全性のあゆみ-」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
25日(土) -26日(日)	25日 13:00-17:00 26日 9:30-17:00	シンポジウム 「エイジング—多彩な文化を生きる」(仮題)	国立民族学博物館
26日(日)	14:30-15:30	「たっぷりアメリカ—春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第243回講演「アンデスの箱型祭壇」	国立民族学博物館
		http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html	

3月

日程	時間	行事名	場所
3日(土)	13:00-16:45	国際公開フォーラム「インクルーシブデザインとは何か—ケアと育みの環境を目指して」	国立民族学博物館 講堂
3日(土)	13:30-15:30	第14回 「ドキュメンタリーフィルムでみる三里塚」	国立歴史民俗博物館 講堂
4日(日)	9:00-17:00	国際シンポジウム 「包摂した社会空間の実現にむけて:課題とインクルーシブデザインの解決モデル」	国立民族学博物館 第4セミナー室
4日(日)	14:30-15:30	「たっぷりアメリカ—春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第244回講演「版画制作でつながるイヌイット社会と日本」	国立民族学博物館
		http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html	
9日(金)	10:00-16:00	統計数理研究所 公開講座 「バイオサイエンスのための時系列解析入門」	統計数理研究所 大会議室
		http://www.ism.ac.jp/lectures/23k.html	
10日(土)	13:30-15:30	「たっぷりアメリカ—春のみんぱくフォーラム2012」関連 親子ワークショップ「ひょうたんの楽器をつくらう—ホピのくらしとお天気」	国立民族学博物館 第3セミナー室
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/minpakuforum/20120107ame/#work	

10日(土)	14:00-16:00	第339回 歴博講演会 「洛中洛外図から風俗画へ」	国立歴史民俗博物館
11日(日)	14:30-15:30	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第245回講演「北西海岸先住民の美術とトーテムポール」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
15日(木)		ヨーロッパ展示、インフォメーション・ゾーン 新構築オープン	国立民族学博物館
16日(金)		みんぱく公開講演会「ヨーロッパと日本の宗教—問いなおされる救済のかたち」主催：国立民族学博物館・毎日新聞	毎日新聞オーバルホール(大阪)
17日(土)	13:30-15:00 開場 13:00	第406回みんぱくゼミナール 「文化とアイデンティティ—ビルマ／ミャンマーの今」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar11.html#s403		
17日(土) -18日(日)	17日 13:20-16:50 18日 10:20-16:20 (予定)	シンポジウム 「文化遺産の復興を支援する—東日本大震災をめぐる活動」	国立民族学博物館 講堂、第5・6セミナー室
18日(日)		シンポジウム「記憶・歴史・表象—博物館は悲惨な記憶をどのように展示するか」	国立民族学博物館
19日(月) -20日(火)	19日 13:00-17:30 20日 10:00-18:00	シンポジウム「ミュージアムと共創～表現で出会う・表現でつながる～」 主催：国立民族学博物館	早稲田大学(東京)
20日(火・祝)	10:00-17:20	自然科学研究機構シンポジウム 「知的生命の可能性 —宇宙に仲間はいるかIII—」	東京国際フォーラム
	http://www.nins.jp/public_information/symposium12.html		
20日(火・祝)	13:30-16:15 開場 13:00	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 研究公演「ホピの踊りと音楽」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
24日(土)	13:30-15:30	くらしの植物苑観察会「ヤクスギの秘密」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
24日(土) -25日(日)		国際シンポジウム「グローバルな倫理的消費：フェアトレードの新展開」	国立民族学博物館

25日(日)	14:30-15:30	「たっぷりアメリカー春のみんぱくフォーラム2012」関連 みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第246回講演「ホピの銀細工」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
3月27日(火) -5月6日(日)	9:30-16:00	企画展示 洛中洛外図屏風と風俗画	国立歴史民俗博物館

4月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第247回講演タイトル未定	国立民族学博物館
8日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第248回講演タイトル未定	国立民族学博物館
14日(土)	14:00-16:00	第340回 歴博講演会「源平争乱の時代と信仰」	国立歴史民俗博物館
15日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第249回講演タイトル未定	国立民族学博物館
21日(土)	13:30-15:00	第407回みんぱくゼミナール「サハリンのキムチ」	国立民族学博物館
22日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第250回講演タイトル未定	国立民族学博物館
4月26日(木) -6月19日(火) (予定)		特別展 「今和次郎 採集講義—考現学の今(仮称)」	国立民族学博物館 特別展示館
29日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第251回講演タイトル未定	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

複合科学研究科

情報学専攻

○坊農真弓 助教

社会言語科学会 徳川宗賢賞(萌芽賞) 受賞

生命科学研究科

生理科学専攻

○富永真琴 教授

2011年度 食創会 安藤百福賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第45号をお届けします。

1月下旬から全国的に厳しい寒さが続いています。日本の上空には寒気が入り込みやすい条件が揃っているようで、このままいけば、この冬は6年ぶりの「寒冬」になる可能性があるという報道もありました。

全国的な寒さとともに、インフルエンザの患者数も各地で急増しているようです。インフルエンザの予防方法にもいろいろあるかと思いますが、どうやらヨーグルトにも予防効果があるようです。R-1乳酸菌入りのヨーグルトを半年間食べ続けた佐賀県有田町の小中学生のインフルエンザ感染率は、隣接する自治体の小中学生の10分の1程度に低下したそうです。

今から始めても間に合うかどうかわかりませんが、これからは毎日ヨーグルトを食べようかと思っています。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と標記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2012年2月8日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2012 SOKENDAI